



アフタースクール（職場定着支援）

進路指導担当 数野 誠一

本校では年に7回、学校開放事業の一環として、本校卒業生を主な対象とした「アフタースクール」を開催しています。

講座の内容としては、SNSや個人情報の取り扱い方など、社会生活に欠かせない知識の学習会から、アリーナでのスポーツ活動、クリスマス会や書き初め等の季節行事まで、多岐にわたります。開講が平日の夜ということもあり、仕事を終えてからの参加者が大半ですが、学習会に意欲的に参加して、久しぶりに会う仲間とレクリエーションを楽しんでいます。

この講座は、「学びとつながりの場」を提供するだけではなく、本校卒業生にとっては職場定着支援という側面もあります。開講中、教員は参加者の表情、様子などを観察し、話を聞いたり、必要であれば支援機関に相談、就労先に訪問したりするなどの対応をしています。

学校では、多くの仲間や教員に囲まれ、楽しく過ごしていましたが、卒業後は数人、もしくは一人で新しい環境に飛び込むこととなります。社会生活を円滑に送るために必要な知識やルールを学ぶ場として、仲間とつながる場として、悩みを相談する場として、その存在意義は卒業生にとっても、私達教員にとってもますます大きなものであると実感しています。



新年の抱負を発表して書き初めをします。



受講者が予定やルールの確認をしている様子